

日合商各支部で総会が開催されました

2019.6.13

四国支部 2019 年度 総会

伊予鉄会館にて 参加 43 名

第一部総会、第二部講演会、第三部懇親会の三部構成で開催しました。
村上高志支部長より総会開会の挨拶、引きつづき総会議事を行い、「平成 30 年度事業報告」「平成 30 年度収支報告承認および監査報告」「役員改正の件」「令和元年度事業計画(案)」「令和元年度収支予算(案)承認」の議案が全会一致で承認されました。
講演会は、総務省地域力創造アドバイザーを務める忠政啓文氏を講師に迎えて『忙しいアナタのための超短時間トレーニング法』を演題に実施。実演も交えてわかりやすく解説いただきました。
懇親会は、井関和彦副支部長より開会の挨拶、乾杯は SMB 建材中四国営業部長高橋良彰氏、アイカ工業四国支店長 松尾克徳氏の中締めをはさんで和やかに交流を深めました。



総会開会の挨拶に立つ
村上高志支部長



講演会の講師は総務省地域力創造
アドバイザーを務める忠政啓文氏

2019.6.13

神奈川支部 2019 年度 総会

クルーズクルーズ YOKOHAMA にて 参加 53 名

総会は伊藤元二支部長の挨拶に始まり、総会議事が行われ、「2018 年度事業報告」「2018 年度収支報告承認および監査報告」「2019 年度事業計画(案)」「2019 年度収支予算(案)」の議案が全会一致で承認されました。
中村豊副支部長による乾杯でスタートした懇親会は、高橋誠会計幹事の中締めをはさんで、おおいに懇親を深めました。



総会挨拶に立つ
伊藤元二支部長

2019.6.13

東関東支部 2019 年度 総会

ホテルグリーンタワー幕張にて 参加 58 名

第一部総会、第二部研修会、第三部懇親会の三部構成で開催しました。
遠藤又四郎支部長より総会開会の挨拶、引きつづき総会議事を行い、「2018 年度事業報告」「2018 年度収支決算報告承認および会計監査報告」「新役員候補及び入退会報告」「2019 年度事業計画(案)」「2019 年度収支予算(案)承認」の議案が全会一致で承認されました。
研修会は、佐藤満 国際経営・農業研究所 代表取締役社長の佐藤満氏を講師に迎え、『逆境を切り開く経営 壁を破る発想法』を講演テーマに実施。企業の平均繁栄寿命 30 年と言われる運命に立ち向かい、企業を繁栄させる経営者の役割責任を果たすには、経営者はどうあるべきかが語られました。
懇親会は、足立建一郎理事長の乾杯の挨拶に始まり、パナソニック ライフソリューションズ社千葉住建営業所所長 鈴木将人氏の中締めをはさみ、和やかに交流が行われました。



総会開会の挨拶に立つ 遠藤又四郎支部長



懇親会 乾杯の挨拶を 足立建一郎理事長

2019 年度合法木材・持続可能木材の供給認定事業者研修会の実施

●本年度も3年に1度の「合法認定事業者研修会」を実施いたします。
従来の研修会に併せて、登録実施機関等の専門家による「クリーンウッド(合法伐採木材)」普及促進のための説明会を実施いたします。
なお、認定事業者の研修終了者には受講証明書を発行します。
まだ認定事業者でなくても、今後、認定申請を検討される木材関連事業者にも広くご参加いただけます。

●本年度の林野庁補助事業では、合法性の確認が必要になります。
「JAS 構造材利用拡大事業」と「外構部の木質化支援事業」では、施工者の交付申請書に【合法木材証明書】の添付が必要ですので、証明書発行の徹底をお願いします。

「ナイスの森」を育てています

NICE ナイス
すてきナイスグループ

ナイス株式会社の事業のルーツは
戦後の住宅復興を支えた建築用の木材流通です。
ナイスグループは、社有林「ナイスの森」を通じて
ルーツである「木」と地球環境の保全に貢献しています。
私たちはこれからも、人に優しく、緑美しい「ナイスの森」を
心を込めて大切に育ててまいります。

ナイスグループは、利益の一部を山林取得にあて
地球環境に貢献するため、
福島県郡山市、神奈川県厚木市、神奈川県相模原市、
静岡県島田市、岐阜県下呂市、京都府京都市、
和歌山県新宮市、徳島県那賀町の
8つの社有林「ナイスの森」(合計2,021ヘクタール)を
保有しています。

ナイス川根の森

私たちはお客様の最適な住まいづくりを心を込めて応援いたします。

◆ 建築資材事業 ◆

建築資材のご提案
住設機器・建材や
耐震工法など最新の商品と技術で
多様化するニーズにお応えします。

◆ 市場事業 ◆

木材流通の最大手
国内及び海外に保有する
約40カ所の木材プラットフォームを通じて
建築用木材を供給しています。

◆ 住宅事業 ◆

地震に強い家づくり
最高レベルの住宅性能を備えた
一戸建住宅「パワーホーム」と
免震マンション「ノブレス」を供給。

木と住まいの最適生活応援企業

NICE ナイス株式会社

本社/〒230-8571 横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1 TEL 045-521-6161 (代表)

URL <http://www.nice.co.jp>

創業から半世紀の伝統と信頼性と高品質。

「日々新・進」をモットーに、
より良い製品提供に努めています。

昭和22年の創立からおよそ70有余年にわたり、常に高品質な製品を提供べく
様々なチャレンジをしてきました。おかげさまで良い評判をいただいています。
「和」と「企業活動を通して地域社会に貢献する」ことを
経営の軸として守り続けています。
これからもさらにみなさまのお役に立てるように、
業界のリーディングカンパニーとして前進していきます。

人と木を結んで...
日新グループ
<http://www.nisshin.gr.jp/>

N
NISSHIN

日新ホールディングス株式会社

株式会社 日新

本社工場/埼玉県西工業団地100 TEL 0859-47-0303
第二工場/松江市西本町1062 TEL 0852-88-2211
第三工場/松江市西工業団地70 TEL 0859-47-0303
湖北工場/松江市富士見町3-13 TEL 0852-37-0301
四国工場/徳島県小島市磯前5-38 TEL 0885-38-6103
三重工場/三重県多度町河内1343-1 TEL 0598-38-6003

NS木質科学研究所

埼玉県西工業団地102 TEL 0859-47-0606

日新林業株式会社

本社/松江市西町383 TEL 0852-23-3822
埼玉事務所/埼玉県西工業団地88 TEL 0859-44-3311
埼玉工場/埼玉県西工業団地88 TEL 0859-44-3311

湖北ベニヤ株式会社

本社工場/松江市富士見町3-13 TEL 0852-37-0301

島根合板株式会社

本社/松江市油井町1895-2 TEL 0855-27-1625
第二工場/浜田市周布町1188-8 TEL 0855-27-1625

島根県合板協同組合

本館/松江市西町383 TEL 0852-23-3822
東京事務所/東京都中央区築地4-1-1 (東側ビル17F) TEL 03-3248-6861

日新バイオマス発電株式会社

本社/埼玉県西工業団地46-1 TEL 0859-21-4591

ご活用ください! **【日合商ホームページ】に掲載中の〈トピックス〉ご案内** <https://www.nichigosho.net/>

▶ 5月22日 「働き方改革関連法の施行に向けた取引上の配慮について」
政府広報：働き方改革 中小企業も！働き方改革
もしくは
厚生労働省：「働き方改革」の実現に向けて

▶ 6月12日

【厚労省・中小企業庁】
「働き方改革のヒント（働き方改革好事例集）」及び
「働き方改革支援ハンドブック（2019年4月改定版）」の案内

【国交省・経産省・農水省】
「ホワイト物流」推進運動の案内

【厚労省】
荷主と運送事業者のための「トラック運転者の労働時間削減に向けた改善ハンドブック」の案内

【国交省】
「荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン」の案内

▶ 6月6日 JAS 構造材利用拡大事業について
平成31年度 JAS 構造材利用拡大事業説明会について
平成31年度「JAS 構造材利用拡大事業」パンフレット

【グリーン購入法】に基づき
事業者新認定・期限更新した83社

北海道	- ④ -0016	(株)長谷川建材	代表取締役	長谷川 豊
北海道	- ② -0030	(株)ケイセイ建材	代表取締役	高田 祐一郎
東北	- ② -0044	(株)淡良建材店	代表取締役	渋口 通
東北	- ② -0046	(株)タカハン住建	代表取締役	高橋 勝昭
東北	- ② -0049	(株)頭久保 十和田店	代表取締役社長	頭久保 幸宣
東北	- ② -0050	東海林建材(株)	代表取締役	東海林 仁
東北	- ② -0054	トップ建材(株)	代表取締役	富樫 亜由美
東北	- ② -0055	(株)米沢住建センター	代表取締役	本田 仁
東北	- ② -0056	(株)クニヒロ・ホームテック	代表取締役	二宮 孝義
東北	- ② -0057	(株)荒木建材店	代表取締役	荒木 光廣
東北	- ② -0061	吉川建材産業(株)	代表取締役	吉川 哲司
北関東	- ② -0048	(株)ホームズマルホ	代表取締役	保谷 力廣
北関東	- ② -0050	高水木材(有)	代表取締役	高水 良治
北関東	- ② -0051	黒磯新建材(株)	代表取締役	黒澤 洋一
北関東	- ② -0053	(有)竹内	代表取締役	竹之内 行男
北関東	- ② -0054	(有)古島材木店	代表取締役	古島 司
北関東	- ② -0055	飯塚木材(株)	代表取締役	飯塚 廣之
北関東	- ② -0056	(有)フォーティーフォー	代表取締役	板橋 祐二
東関東	- ② -0021	(株)長田材木店	代表取締役	長田 圭祐
東関東	- ② -0023	(有)須田材木店	代表取締役	須田 康二
東京・新潟	- ④ -0092	(株)鶴岡屋	代表取締役	斎藤 信一
北陸	- ④ -0094	ホクリク住材(株)	代表取締役社長	後藤 道敬
北陸	- ② -0102	アロック・サンワ(株)	代表取締役	石橋 正人
北陸	- ② -0104	(株)富山合板	代表取締役	垣内 芳浩
北陸	- ② -0105	ヤマイチ(株)	代表取締役	廣瀬 貴志
北陸	- ② -0106	小森商事(株)	代表取締役社長	小森 英雄
北陸	- ② -0107	(株)金沢商行	代表取締役	瀬沢 幸利
東京	- ④ -0095	(株)木場ベニヤ商会	代表取締役	猪俣 二郎
東京・山梨	- ④ -0097	(株)白根ベニヤ	代表取締役	川野 健一郎
東京・新潟	- ② -0138	十日町木工(株)	代表取締役	栢森 哲朗
東京・新潟	- ② -0139	(株)アオキ住建	代表取締役	青木 宏彰
東京	- ② -0140	太陽ベニヤ(株)	代表取締役	鎌瀧 充彦
東京・新潟	- ② -0141	(株)南清四郎商店	代表取締役	南 高志
東京・静岡	- ② -0143	(株)万年屋	代表取締役	鈴木 由紀夫
東京	- ② -0144	(株)ブルケン・マルタマ	代表取締役	赤星 章博
東京・新潟	- ② -0145	(株)村山商会	代表取締役	村山 芳夫
東京	- ② -0147	本橋木材工業(株)	代表取締役	本橋 邦昭
東京・新潟	- ② -0149	(有)大和材木店	代表取締役	小林 憲雄
東京・長野	- ② -0151	アルファランパー(株)	代表取締役	伊藤 秀敏
東京	- ② -0152	(株)東京木工所	代表取締役	栗原 能子

東京	- ② -0154	(株)井出材木店	代表取締役	井出 正明
東京・山梨	- ② -0155	(株)高見澤新建材	代表取締役	高見澤 芳雄
東京	- ② -0156	福原木材(株)	代表取締役	福原 嘉昭
東京・長野	- ② -0157	(有)小宮山建材		小宮山 英樹
東京	- ② -0158	(株)丸忠商店	代表取締役	池本 俊明
東京・静岡	- ② -0159	(株)原川	代表取締役	原川 誠
東京・新潟	- ② -0161	(株)オタケ	代表取締役	尾竹 義郎
東京・新潟	- ② -0162	(有)材木館木屋	代表取締役	小菅 輝夫
東京・山梨	-0239	(株)エスピーダ	代表取締役	須藤 泰成
神奈川	- ② -0030	和田木材(株)	代表取締役	和田 敏弘
神奈川	- ② -0031	(有)相原材木店	代表取締役	相原 光弘
神奈川	- ② -0035	(株)高橋製材所	代表取締役	高橋 幸伸
神奈川	- ② -0045	丸和住宅資材(株)	代表取締役	押切 信広
神奈川	- ② -0046	(株)佐野銘材	代表取締役	佐野 誠一
中部日本	- ② -0043	(株)ジツダヤ	代表取締役	友松 芳信
中部日本	- ② -0044	(有)Materia	代表取締役	吉澤 善一
関西	- ② -0076	大谷イコク	代表取締役	山内 洋介
関西	- ② -0077	大谷住宅(株)	代表取締役	大谷 健一郎
関西	- ② -0078	(株)タイセー	代表取締役社長	西村 武志
関西	- ② -0079	タケヤテック(株)	代表取締役	竹家 昌希
中国	- ④ -0020	(有)小林材木店	代表取締役	小林 俊造
中国	- ④ -0021	(株)徳山ボードセンター	代表取締役	谷口 士郎
中国	- ② -0062	(株)忠建	代表取締役	藤畝 大輔
中国	- ② -0063	原建材販売(株)	代表取締役社長	原 暢隆
中国	- ② -0066	(株)ウエストハウザー	代表取締役	小林 恭光
中国・山陰	- ② -0068	日興建材(有)	代表取締役	梶見 聡
中国	- ② -0070	(株)島村材木店	代表取締役	島村 稔
中国	- ② -0072	濱本木材(株)	代表取締役	濱本 隆彦
中国	- ② -0074	(株)オバラボード	代表取締役	小原 靖一
中国・山陰	- ② -0075	土江建材T・Kボルト	代表	土江 勝利
四国	- ② -0013	(株)共誠	代表取締役	白鳥 文秀
四国	- ② -0014	(株)田部	代表取締役	田部 博史
四国	- ② -0015	ハチモク(株)	代表取締役	片山 恭一
四国	- ② -0016	堀部産業(株)	代表取締役	堀部 耕一
四国	- ② -0017	(株)マルカ	代表取締役	中井 真一
四国	- ② -0018	(株)松山合板社	代表取締役	大野 健夫
九州	- ② -0056	坂口建材(株)	代表取締役	中村 一貴
九州	- ② -0060	(株)ヤヒロ	代表取締役	八尋 大八
九州	- ② -0061	(株)さかや	代表取締役	川井田 守
九州	- ② -0065	(有)桜木新建材	代表取締役	桜木 幹也
九州	- ② -0066	(有)タクミ建販	代表取締役	沖園 朋子
九州	- ② -0069	東田建材(株)	代表取締役	東田 昌之
九州	- ② -0080	(株)大分ベニヤ商会	代表取締役	坂本 知隆



**土足対応
WPC床材**

コミュニケーションタフ DW

〈地域産材対応突板〉

土足でもキレイ長持ち

独自のWPC技術で傷や汚れに強く
お手入れも簡単です。

天然木化粧

天然木化粧で高級感を演出します。

地域産材対応可能です。詳しくは弊社営業所にお問い合わせください。

大建工業株式会社

大阪市北区中之島3丁目2番4号
中之島フェスティバルタワー・ウェスト14F

環境と安心をかたちに

石巻合板は住みつづける人への環境と耐震性を提供します。

環境

間伐材等の有効利用。木の成長を育み森林をいきいき活性化!

国産材の有効利用

「木財」を無駄なく活用し、自然と調和を目指しつづけます。

耐震

筋交いの代わりに、耐震・耐久性に優れる針葉樹構造用合板!

壁倍率が4.0倍

ホルムアルデヒドが少ない接着剤を使用し、強度と耐久性を追求した製品です。

石巻合板工業株式会社 <http://www.ishinomaki.co.jp>

本社 TEL.0225-96-3111 FAX.0225-96-3116 E-mail honsya@ishinomaki.co.jp

東京営業所 TEL.03-5829-6691 FAX.03-5823-1215 E-mail tokyo@ishinomaki.co.jp

東部営業所 TEL.0225-96-3315 FAX.0225-96-3116 E-mail toubu@ishinomaki.co.jp

概 要

2019 年 4 月の新設住宅着工戸数は 79,389 戸（前年同月比 5.7%減）で 5 カ月ぶりの減少となった。その内、木造住宅は 45,179 戸で前月比を 4 カ月連続の増加となった。季節調整済年率換算値は 93.1 万戸で前月比 5.8%減、3 カ月ぶりの減少となる。

利用関係別では持家が 25,436 戸（前年同月比 9.2%増）で 7 カ月連続の増加、貸家は 29,511 戸（同比 16.7%減）で 8 カ月の連続の減少、分譲 23,411 戸（同比 6.0%減）で 9 カ月ぶりの減少となった。分譲の内訳はマンションが 10,480 戸（同比 15.1%減）で 9 カ月ぶりの減少、戸建ては 12,698 戸（同比 3.0%増）と 5 カ月連続の増加となった。持家は増加したが、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比 5.7%の減少となった。

国内・外合板の供給量

4 月の国内合板生産量は 26.9 万 m³（前月比 97.8%、前年同月比 99.6%）と発表された。その内、針葉樹合板の生産量は 25.7 万 m³（同比 97.8%、98.9%）となり、出荷量は 25.8 万 m³（同比 100.6%、102.8%）で在庫量は

合板市況と今後の見通し

日本合板商業組合東京支部
東京都ベニヤ板問屋協同組合
新風会 猪爪 清和

14.3 万 m³と若干減少した。出荷量は 7 カ月連続で前年を上回る数字となった。

輸入合板の 4 月度入荷量は 23.7 万 m³（前月比 117.9%、前年同月比 88.9%）となった。国別入荷量はマレーシアが 9.6 万 m³、インドネシアが 7.3 万 m³、中国が 5.3 万 m³となっている。6 カ月連続前年を下回った入荷となっている。

今後の見通し

国内針葉樹合板は生産・出荷ともに高水準の状態ではある。市況は若干落ち着いた動きになっているが、需給バランスは取れている。在庫量が若干増加したが、まだ十分な在庫量ではなく、これからの需要に対応できるか不安が過る。相場は維持されると思われる。

輸入合板については昨年比で入荷量は減少してきており、一部で品薄アイテムも出てきている。4 月以降の荷動きは予想以上に厳しい状況となっているが、7 月以降の需要増加如何では入荷量減少の影響で急激な価格上昇や欠品するアイテムが出てきてもおかしくない状況と考える。そここのところを踏まえたうえで手当てを進めて頂きたい。

窓を考える会社 YKK AP®

YKK AP 株式会社
http://www.ykkap.co.jp/

NODA

ラスティック フェイス
Rustic Face

Rich J-Base | J-Base 天然木フロア
リッチ・J ベース (1本溝タイプ) | J ベース (2本溝タイプ)

深みのある色合いが織りなす
個性が際立つ装い。

Acacia Debut!
[アカシア]

株式会社ノダ 本社 〒111-8533 東京都台東区浅草橋5-13-6 (三朋ビル) ☎ 0120-51-4066 (お客様相談室)

FUKUVI



新しい発想の床衝撃音低減材

サイレントドロップ
もう上階の音に悩まない。



フクビ化学工業株式会社
https://www.fukuvi.co.jp

本社：〒918-8585
福井県福井市三十八社町 33-66
☎ 0776-38-8013

ニチハ

PREMIUM SERIES
プレミアムシリーズ

住み続ける人のことを、
考えて、考えて、考えて、
誕生した外壁材です。

人も住まいも、長く生きていく時代。
住まいの外壁材にも、人生に、長く寄り添う役割があると思う。
色あせにも塗膜のひび割れにも強い進化した外壁材。
それが、ニチハのプレミアムシリーズ。

窯業系サイディング
業界初

変色・褪色

30年
保証



商品情報はコチラ

商品のお問い合わせ・ご相談は、最寄りの弊社営業所または、下記 お客様相談室へご連絡ください。
【お客様相談室】TEL (052) 220-5125 FAX (052) 220-5157 【受付時間】月～金 AM9:00～PM5:00 (土・日・祝日・年末年始・お盆休みを除く)
※写真はイメージです。 ※1 2017年11月時点 ※2 沖縄県の物件を除く。保証書発行には諸条件がございます。

林野庁主催「令和元年度第 1 回木材需給会議」に先立ち、
2019 年 6 月 5 日に開催された「合板需給検討委員会」(日
本合板工業組合連合会・日本木材輸入協会・日本合板商
業組合) で合板需給見通しを検討しました

国産合板の需要

1. 令和元年第 1 四半期の実績について 今回 (818 千㎡)
(実績数量の背景、前年同期との比較等)
大手プレカット工場や大手住宅メーカー、九州エリアの活発な需要に支えられ、生産量を上回る需
要となった。
出荷量は、前年同期比+ 5.1%、818 千㎡でした。
2. 令和元年第 2 四半期の見込みについて 今回 (810 千㎡)
(見込み作成の根拠、前年同期との比較等)
5 月大型連休による生産量の低下はあるものの、6 月以降新工場の生産も要因に加わり第 1 四半期
より供給は増加する。需要は、第 1 四半期に引き続き、大手プレカット工場中心の活発な需要は続
く見込み。
出荷量は、前年同期比+ 4.3%、810 千㎡の見込み。
3. 令和元年第 3 四半期の見通しについて 今回 (820 千㎡)
(見通し作成の根拠)
供給は、新工場の本格稼働を考慮し生産量の増加となるが、有給休暇の取得義務化やボイラー点検
などメンテナンスによる 8 月夏季休暇の大型連休は減少要因。このプラスマイナス要因を考慮しても
第 2 四半期より増加傾向となる見込み。一方需要面では、消費増税を前に住宅着工は持家・分譲戸
建てを中心の木造住宅需要の伸びや非住宅用途の拡大などに支えられ、今年のピークとなる見通し。
(前年同期との差異について)
出荷量は、前年同期比+ 5.7%、820 千㎡の見通し。
4. 令和元年第 4 四半期の見通しについて 今回 (810 千㎡)
(見通し作成の根拠)
供給では、稼働日数は今年最も多く、生産はピークとなる。需要面では、住宅着工の消費増税駆け
込みのピークアウトや貸家の減少傾向は続くものの、木造住宅での厚手化、非住宅用途への採用の
拡大、フロー台板などの産業用途の拡大の傾向は一層進展する見込み。
(前年同期との差異について)
出荷量は、前年同期比- 5.7%、810 千㎡の見通し。

合板 短期需給見通し (Unit : 1,000㎡)

		供給			需要 (出荷)			期末在庫		
		計	国内製造	輸入合板	計	国内製造	輸入合板	合計	国内製造	輸入合板
2019(R1) 1-3	前回予測 実績	(1,517) 1,481.526	(790) 797.179	(727) 684.347	(1,490) 1,482.000	(780) 817.529	(710) 664.471	(1,141.800) 1,114.326	(191.101) 160.751	(950.699) 953.575
4-6	前回予測	(1,533)	(810)	(723)	(1,500)	(780)	(720)	(1,174.800)	(221.101)	(953.699)
	見込み	1,519.000	810.000	709.000	1,490.000	810.000	680.000	1,143.326	160.751	982.575
7-9	前回予測	(1,537)	(820)	(717)	(1,490)	(790)	(700)	(1,221.800)	(251.101)	(970.699)
	見通し	1,479.000	820.000	659.000	1,510.000	820.000	690.000	1,112.326	160.751	951.575
10-12	見通し	1,538.000	830.000	708.000	1,500.000	810.000	690.000	1,150.575	181.000	969.575
計		6,018.000	3,257.000	2,760.000	5,982.000	3,258.000	2,724.000			

輸入合板の需要

1. 令和元年第 1 四半期の実績について 今回 (664 千㎡)
(実績数量の背景、前年同期との比較等)
入荷は予測より大きく下回り、合わせて需要 (出荷) も大幅で急激な減少となった。
出荷量は、前年同期比- 6.5%、664 千㎡となった。
2. 令和元年第 2 四半期の見込みについて 今回 (680 千㎡)
(見込み作成の根拠、前年同期との比較等)
コンテナ配船比率の高まりにより、入港量の予測も困難が増し、価格の不安定さも増している。
需要面ではこの影響を受け建築用・産業用ともに用途の縮小傾向が続いている。年度替わりの 4
月の入港も予想より少なく、需要も 5 月の大型連休を考慮すると第 1 四半期より増加するが全
体量は多くはない。
出荷量は、前年同期比- 10.2%、680㎡と見込む。
3. 令和元年第 3 四半期の見通しについて 今回 (690 千㎡)
(見通し作成の根拠)
昨年増加したベトナムからの梱包用合板は、中国向け輸出の停滞見通しから伸びはない。建築
用途では持家・分譲戸建てを中心の需要は続くが、賃貸は減少傾向。また 5 月連休と同規模の
夏季休暇が予想され、持ち直しを予想するが大きな規模ではない。
(前年同期との差異について)
出荷量は、前年同期比+ 0.9%、690 千㎡との見通し。
4. 令和元年第 4 四半期の見通しについて 今回 (690 千㎡)
(見通し作成の根拠)
コンテナ配船比率の上昇による荷役や運転手不足等による配送経費等の増加は、コスト増加要
因として織り込まざるを得ない。一方、需要側からみれば、最近の円高傾向への振れと国内の
販売価格の弱い推移は、現地仕入価格の見直しを必要としている。また川下の需要家は、当用
買いによる手当を続ける見通し。
(前年同期との差異について)
出荷量は、前年同期比- 9.2%、690 千㎡との見通し。

東京の合板卸売り価格 (Unit : 1,000㎡)							
※東京都ベニヤ板間屋協同組合、日本合板商業組合「市況通信」より (円) (注) 1 車単位 (10 トン) 問屋売り価格・90 日手形 (JAS 製品)							
品 目		5 月 29 日	前週比	6 月 5 日	前週比	6 月 12 日	前週比
ラワン JAS F☆☆☆☆	2.3mm T2	620	0	620	0	620	0
	4.0mm //	740	0	740	0	740	0
	5.5mm //	900	0	900	0	900	0
	9.0mm //	1,500	0	1,500	0	1,500	0
	12.0mm //	1,820	0	1,820	0	1,820	0
針葉樹構造用 (ネダノン)	F☆☆☆☆ 12mm C-D	1,130	0	1,130	0	1,130	0
	F☆☆☆☆ 24mm 実付	2,550	0	2,550	0	2,550	0
	F☆☆☆☆ 28mm 実付	2,850	0	2,850	0	2,850	0
	F☆☆☆☆ 9mm 3×10	1,970	0	1,970	0	1,970	0
輸入・型枠用	12mm JAS 製品	1,410	-50	1,410	0	1,410	0
輸入・構造用	F☆☆☆☆12mm JAS製品	1,430	-40	1,430	0	1,430	0

JAS 標語

建築に品質たしかな JAS マーク

木の佳さを生かす良い品 JAS 製品

家づくり品質たしかな JAS 製品

暮らしと地球を
考える。

JKホールディングスグループが扱う「木質系建築資材」。これらは再生産が可能で循環型社会の実現には不可欠な森林資源からつくられています。木の性質である呼吸は、炭素を貯蔵し、大気中の二酸化炭素量のバランスを保つ役割を持っています。私たちは、木が地球環境を支える重要な存在であることを理解し、適切に管理された森林資源が人の暮らしと地球環境の未来を支えていくと考え、その保全に貢献し、快適で豊かな住環境を創造します。

JKホールディングス株式会社

東京都江東区新木場1-7-22 TEL.03-5534-3800 <https://www.jkhd.co.jp>